

2020 年度後期 京都大学文学研究科 授業評価アンケート 集計結果

京都大学文学部・文学研究科では、学期末に授業評価アンケートを実施し、自己点検・評価に役立てるとともに、その集計結果を公開しています。ご協力いただきました教員・学生の皆さんに、お礼申し上げます。

【実施時期】

2020 年 12 月 21 日～2021 年 1 月 25 日

【回答率】

対象科目数 375 科目、履修者数（延べ）1479 人に対し、回答者数は 217 人、回答率は 14.7%であった。

【結果の概評】

アンケートの回答率は 14.7%であり、19 年度後期（17.3%）、20 年度前期（19.4%）よりも低下した。例年、学部・大学院とも、後期のアンケートへの回答率は前期よりも低下する傾向があるが、今期の大学院の回答率の低下は顕著である。少人数の授業が多いという事情があるにせよ、改善に向けた工夫が必要であろう。今期のアンケートも回答率は低かったものの、過去のアンケート結果と比較して異常と判断されるような数字は見られなかった。それゆえ、以下では、研究科全体の状況を把握する情報としては一定の限界があるとの留保を付しつつ、アンケート結果から大まかな傾向を見ていくこととする。

後期は、一定の条件がそろえば通常の対面型の授業を行うことが認められたものの、前期に引き続いて新型コロナウイルス感染拡大対策のため、Zoom 等による遠隔形式や対面・遠隔のハイブリッド形式で実施された授業が多かった。そのため、20 年度後期については、19 年度後期のデータのみならず、授業形態が類似していた 20 年度前期のデータとも比較を行う必要があるだろう。

20 年度前期のアンケートでは、大学院生の勉学の状況についていくつかの懸念される数字が現われていた。20 年度後期には、一部に改善が見られるものの、なお懸念すべき傾向が少なからず看取される。授業への出席回数を問う Q.01 については、「7 回以上 10 回未満」とそれ以下の回答の合計が 17.9%に達しており、19 年度後期の 13.5%に比べて大幅に増加している。さらに懸念されるのは、Q.02「この授業のために、予習・復習、宿題・課題を行った合計の時間はどれくらいですか」への回答である。「3 時間以上」が 31.3%、「2 時間以上 3 時間未満」が 16.6%、「1 時間以上 2 時間未満」が 31.8%、1 時間未満が合わせて 19.3%であり、1 時間以上との回答の合計（89.8%）は、20 年度前期（81.5%）より上昇し、19 年度後期（89.2%）とほぼ同水準となった。注目すべきは、0.5 時間未満との回答の合計が、19 年度後期（9.9%）、20 年度前期（15.2%）、20 年度後期（19.3%）と漸増傾向にあるこ

とである。「3 時間以上」と「1 時間以上 2 時間未満」に 2 つの山ができるのは以前から見られる傾向であるものの、下の方の山が崩れかけて下方に移動しつつあることは、大いに憂慮すべき趨勢である。

学生の勉学意欲を反映していると考えられる項目へのポジティブな回答の割合は、20 年度前期よりも改善している。Q.03「あなたはこの授業に積極的に参加しましたか」という項目への「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせたポジティブな回答は 90.8%で、20 年度前期 (86.8%) の落ち込みから 19 年度後期 (91.7%) に近い水準に回復した。同様に、Q.11「この授業を通じて知的な問題に取り組む力が向上しましたか」に対するポジティブな回答の合計は 94.9%で、こちらも 20 年度前期の 92.7%から 19 年度後期 (95.4%) に近い水準に回復した。

一方、授業の満足度に関する評価については、懸念すべき傾向が見られる。Q.12「この授業は全体として満足できる内容でしたか」に対する「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせたポジティブな回答の合計は 90.8%にとどまり、19 年度後期 (96.8%)、20 年度前期 (93.8%) と漸減傾向にある。同様に、Q.09「学生の理解度や反応に配慮して授業が進められましたか」に対するポジティブな回答も 88.1%にとどまり、19 年度後期 (92.7%)、20 年度前期 (88.3%) と漸減傾向にある。その他の項目でも、ポジティブな回答の割合は、漸減はしておらずとも伸び悩みが目立つ。Q.04「授業に対する教員の熱意は感じられましたか」に対する回答は、「とてもそう思う」68.2%、「そう思う」28.1%で、20 年度前期の水準にとどまっており、19 年度後期（「とてもそう思う」84.5%、「そう思う」13%）の水準に及んでいない。Q.05「この授業は体系的であり、よくまとまっていたか」に対するポジティブな回答の合計は 89.4%で、20 年度前期 (83.7%) よりは改善しているが、19 年度後期 (93.2%) に及んでいない。Q.07、Q.08、Q.10 についても、ポジティブな回答の割合の変動は同様になっている。

以上のデータのみから大学院教育の現状を概括するのは困難であるが、学部生を対象とするアンケートと比較することにより、いくつかの問題点が浮かび上がってくる。まず、前期の大学院生を対象とする授業アンケートの概評でも指摘したように、遠隔型授業が増加し、あるいは対面指導が制限される状況が、大学院生の教育に悪影響を及ぼしている可能性がある。学部生の授業への満足度が上昇しているのに対して、大学院では低下傾向にある。学部生の勉学意欲は向上したことが読み取れるのに対して、大学院ではそれが見られない。学部・大学院共通の授業が少なからず存在する状況で、大学院の場合にのみ好ましからざる傾向が見られる（つまり、同じ授業を受講して、学部生と大学院生の間で評価が分かれている可能性が高い）とするならば、やはり割合が増加している遠隔型授業が大学院教育に十分に対応しきれていない可能性を考えざるを得ない。

もうひとつは、大学院生の一部が本研究科の教育についてこれなくなっているという、より深刻な可能性である。先述のように、大学院については、授業への出席回数が少ない学生と自習時間の短い学生の割合が増加した。しかし一方で、大学院生の回答者の 8~9 割

は一貫して授業に10回以上出席し、1時間以上を自習に費やしている。自習時間が2時間以上との回答の合計は、19年度後期から50%弱(47.9~49.7%)でほぼ一定している。大学院生全体の勉強意欲が低下しているわけではなく、出席回数や自習時間などから見て問題を抱えていると考えられる学生が一部に出現しているというのが実情であると考えられる。出席回数と自習時間の相関関係は明らかではないものの、これらに問題がある大学院生は全体の1~2割程度であろう。問題は、そのような大学院生の割合が増加傾向にあることである。このような大学院生を減少させることが、本研究科の大きな課題となるかもしれない。

アンケートの自由記述欄(ウェブ上では非公開)には例年以上に多くの回答が寄せられた。授業の実施形態に注目してみると、遠隔形式とりわけZoomを使用するリアルタイムの遠隔授業を高く評価する回答が多く見られた。一方で、機器や接続環境(研究科建物の無線LANを含む)の問題や遠隔授業に対応するための経済的負担に関する指摘、学生への周知・連絡が徹底していなかったとの指摘、顔が見えない授業への違和感など、ネガティブな指摘もあった。(経済的負担については、学内端末の使用や無線ルーターの貸し出しにより緩和されている状況も窺われた。)

ハイブリッド形式については、学部生アンケートと同様に、それを歓迎する回答は少なく、批判的な意見が多かった。指摘された問題点の多くは、音声聞き取りづらくなるなどの技術的問題であり、問題点を指摘する記述の中にはZoomによる遠隔形式に絞った方がよいとの意見が多く見られた。また、少数ではあったが、対面式授業で換気や私語の制限などの点でコロナ感染対策が不十分であると感じたとの指摘があったことは記しておかなければならない。コロナ禍の完全終息をなお見通せぬ状況では、ハイブリッド型授業を改善するための環境整備と対面型授業での感染対策のさらなる徹底が必要であると考えられる。

アンケート名 2020年度_後期_文学研究科_授業評価アンケート

部局 文学研究科

開講年度 2020

対象科目数 375

履修者数 1479

回答者数 217

回答率 14.7

結果 (Q.01) あなたは、この授業にどのくらい出席しましたか。

A: 13回以上 (104票/47.9%)

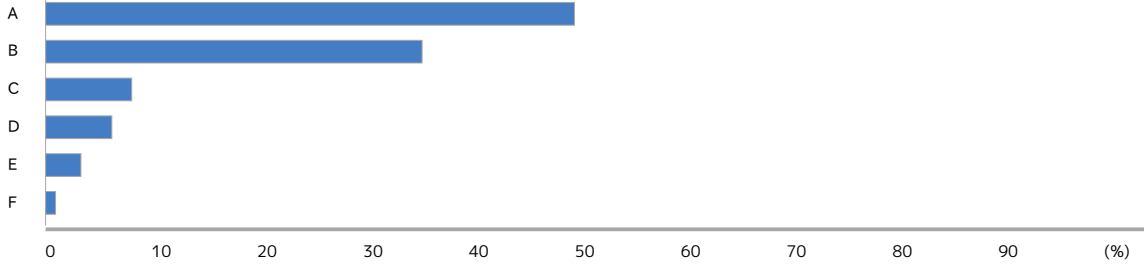
B: 10回以上13回未満 (74票/34.1%)

C: 7回以上10回未満 (17票/7.8%)

D: 4回以上 7回未満 (13票/6%)

E: 4回未満 (7票/3.2%)

F: 無回答 (2票/0.9%)



(Q.02) この授業のために、予習・復習、宿題・課題等を行った合計の時間 (学期を通じた1週間当たりの平均値, 30分単位) はどれくらいですか。

A: 3時間以上 (68票/31.3%)

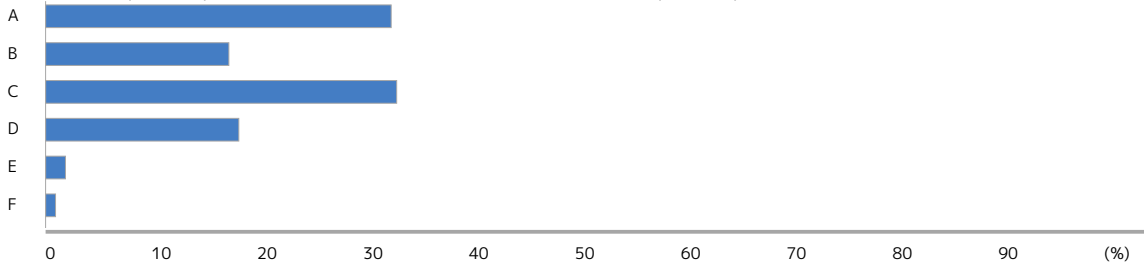
B: 2時間以上3時間未満 (36票/16.6%)

C: 1時間以上2時間未満 (69票/31.8%)

D: 0.5時間以上1時間未満 (38票/17.5%)

E: 0.5時間未満 (4票/1.8%)

F: 無回答 (2票/0.9%)



(Q.03) あなたはこの授業に意欲的に参加しましたか。

A: とてもそう思う (123票/56.7%)

B: そう思う (74票/34.1%)

C: どちらとも言えない (14票/6.5%)

D: そう思わない (3票/1.4%)

E: 全くそう思わない (3票/1.4%)

F: 無回答 (0票/0%)



(Q.04) 授業に対する教員の熱意は感じられましたか。

A: とてもそう思う (148票/68.2%)

B: そう思う (61票/28.1%)

C: どちらとも言えない (5票/2.3%)

D: そう思わない (2票/0.9%)

E: 全くそう思わない (1票/0.5%)

F: 無回答 (0票/0%)



(Q.05) この授業は体系的であり、よくまとまっていましたか。

A: とてもそう思う (132票/60.8%)

B: そう思う (62票/28.6%)

C: どちらとも言えない (19票/8.8%)

D: そう思わない (2票/0.9%)

E: 全くそう思わない (2票/0.9%)

F: 無回答 (0票/0%)



(Q.06) 授業はシラバスに沿っていましたか。

- A: とてもそう思う (140票/64.5%)
- B: そう思う (63票/29%)
- C: どちらとも言えない (11票/5.1%)
- D: そう思わない (0票/0%)
- E: 全くそう思わない (2票/0.9%)
- F: 無回答 (1票/0.5%)



(Q.07) 教員の声はよく聞き取れましたか。

- A: とてもそう思う (155票/71.4%)
- B: そう思う (45票/20.7%)
- C: どちらとも言えない (11票/5.1%)
- D: そう思わない (2票/0.9%)
- E: 全くそう思わない (4票/1.8%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.08) 板書の文字や機器による掲示は見やすかったですか。

- A: とてもそう思う (135票/62.2%)
- B: そう思う (62票/28.6%)
- C: どちらとも言えない (14票/6.5%)
- D: そう思わない (4票/1.8%)
- E: 全くそう思わない (2票/0.9%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.09) 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められましたか。

- A: とてもそう思う (134票/61.8%)
- B: そう思う (57票/26.3%)
- C: どちらとも言えない (19票/8.8%)
- D: そう思わない (3票/1.4%)
- E: 全くそう思わない (3票/1.4%)
- F: 無回答 (1票/0.5%)



(Q.10) 自主的な学習を促すための工夫や補足説明がありましたか。

- A: とてもそう思う (139票/64.1%)
- B: そう思う (63票/29%)
- C: どちらとも言えない (11票/5.1%)
- D: そう思わない (1票/0.5%)
- E: 全くそう思わない (3票/1.4%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.11) この授業を通じて、知的な問題に取り組む力が向上しましたか。

- A: とてもそう思う (143票/65.9%)
- B: そう思う (63票/29%)
- C: どちらとも言えない (6票/2.8%)
- D: そう思わない (1票/0.5%)
- E: 全くそう思わない (4票/1.8%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.12) この授業は全体として満足できる内容でしたか。

- A: とても思う (138票/63.6%)
- B: そう思う (60票/27.6%)
- C: どちらとも言えない (11票/5.1%)
- D: そう思わない (5票/2.3%)
- E: 全くそう思わない (2票/0.9%)
- F: 無回答 (1票/0.5%)



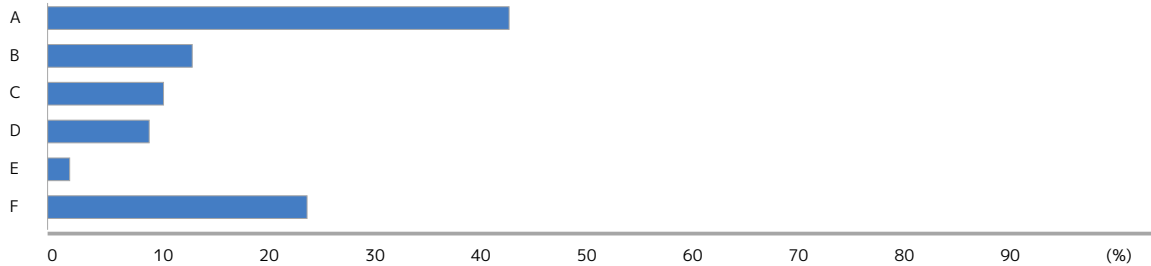
(Q.13) あなたは、シラバスを活用（使用）しましたか。

- A: はい (145票/66.8%)
- B: いいえ (72票/33.2%)
- C: 無回答 (0票/0%)



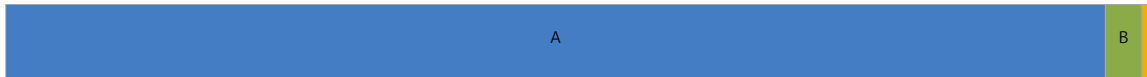
(Q.14) Q.13で「はい」と答えた方はどのように活用しましたか（複数選択可）。

- A: 科目選択・履修登録に活用 (128票/41.8%)
- B: 予習・復習に活用 (40票/13.1%)
- C: 受講にあたり授業中などに活用 (32票/10.5%)
- D: 試験・レポートに活用 (28票/9.2%)
- E: その他 (6票/2%)
- F: 無回答 (72票/23.5%)



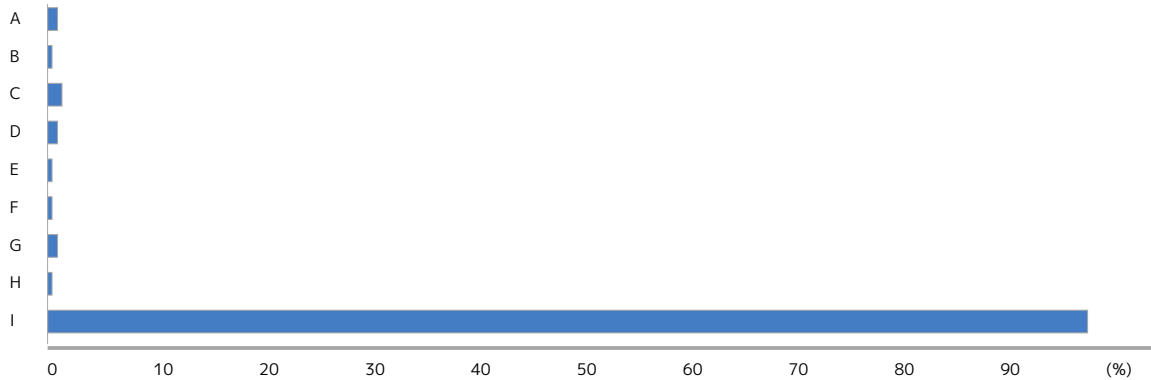
(Q.15) シラバスの情報は十分なものでしたか。

- A: はい (209票/96.3%)
- B: いいえ (7票/3.2%)
- C: 無回答 (1票/0.5%)



(Q.16) Q.15で「いいえ」と答えた方は、理由を以下より選択して下さい（複数選択可）。

- A: 「授業の概要・目的」の情報が不十分 (2票/0.9%)
- B: 「到達目標」の情報が不十分 (1票/0.4%)
- C: 「授業計画と内容」の情報が不十分 (3票/1.3%)
- D: 「履修要件」の情報が不十分 (2票/0.9%)
- E: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報が不十分 (1票/0.4%)
- F: 「教科書」及び「参考書等」の情報が不十分 (1票/0.4%)
- G: 「授業外学習（予習・復習）等」の情報が不十分 (2票/0.9%)
- H: 「その他」の情報が不十分 (1票/0.4%)
- I: 無回答 (210票/94.2%)



(Q.17) この授業についての感想、授業の内容・方法などについての希望、改善してほしい点があれば書いて下さい。[200字上限]

(Q.18) 今学期はコロナ感染対策のため、遠隔形式（Zoom等）で授業が実施されました。遠隔形式でこの授業を受けてみた感想（良かった点、悪かった点、通信環境、改善してほしい点等）があれば書いて下さい。[200字上限]